

学校法人塩入学園

子鹿幼稚園

防災・災害避難マニュアル

【本編】

平成 25 年 6 月 24 日版

〒314-0012 茨城県鹿嶋市平井 1-100

電話 0299-82-0538

<http://www.sopia.or.jp/kojika/>

緊急・災害発生時用ツイッター <https://twitter.com/kojika820538>

【本編】 目次

1. はじめに	3 ページ
2. 防災・災害避難に関する園の情報	4 ページ
3. 地震発生時の基本事項	6 ページ
4. 事前の危機管理	8 ページ
5. 地震発生時の初動フローチャート	9 ページ
6. 地震発生後の具体的な対応	10 ページ
7. 更新履歴等	19 ページ

1. はじめに

「学校法人塩入学園 子鹿幼稚園」が海辺に立地しているという状況で、大地震や津波発生時における危機に直面したとき、園児・職員、来園中の児童および保護者の安全を確保するために、迅速・的確な対応と予防に必要な事項をここに定める。鹿嶋市教育委員会ならびに鹿嶋市役所の各部局との連携を図った上で、このマニュアルを整備した。ここでは、地震発生と同時に停電が発生することも考慮に入れる等、あらゆる状況を想定している。園では日頃より防災訓練および安全チェックを行い、マニュアルの見直しも継続して防災予防に努める。



子鹿祭における避難訓練の様子（2013年6月15日）

2. 防災・災害避難に関する園の情報

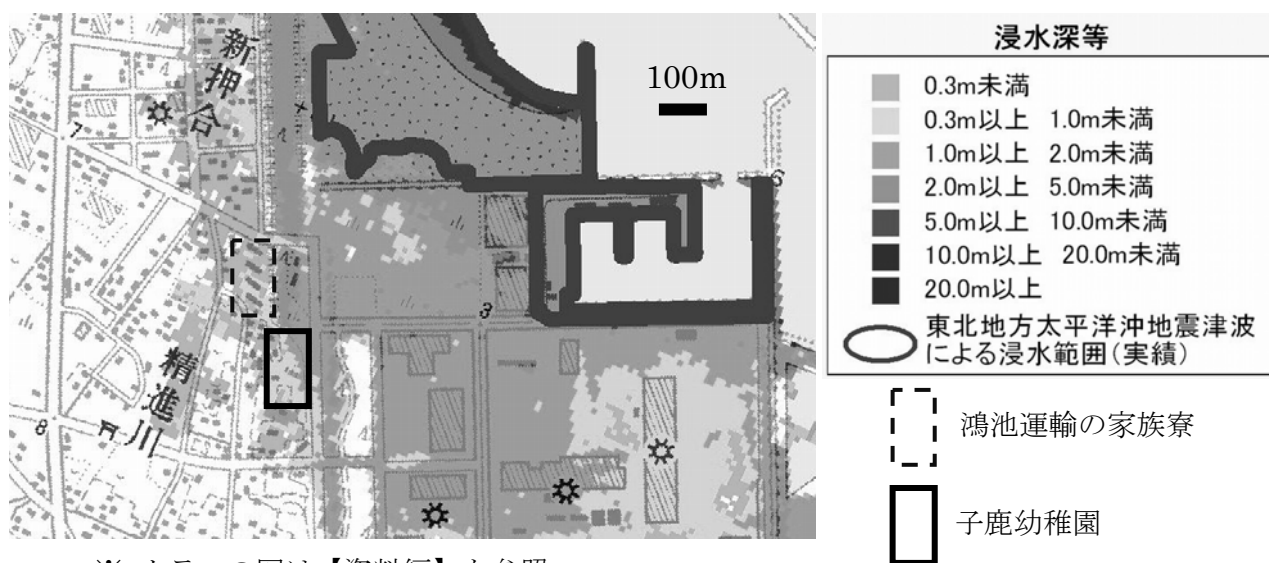
1) 職員の役割分担（主担当・副担当）

- | | |
|--------------------------|--------------|
| ・総括 | ……園長・小沢 |
| ・先導役（鴻池運輸家族寮のフェンスのカギを持つ） | ……千葉・平瀬 |
| ・備蓄品の持ち出し（事務所に配備、4 ページ） | ……フリー教員 |
| ・安否確認（ケガ人の有無など） | ……担任 → 小沢・斉藤 |
| ・捜索（トイレ内確認、行方不明児の探索） | ……小沢・斉藤 |
| ・保護者への連絡 | ……園長・斉藤 |
| ・要支援児 | ……フリー教員 |
| ・「〇〇へ避難した」等の看板を園フェンスに掲示 | ……園長・斉藤 |
| ・園外保育中の防災ラジオ携行 | ……バス運転手 |

※毎朝、担当者の在園を確認し、出張・病欠等で不在の場合は臨時担当者を任命する

2) 幼稚園の立地条件

- ・標高：6 m
- ・海岸までの最短距離：約 700m
- ・下図は、茨城県の津波浸水想定（平成 24 年 8 月 24 日）より、幼稚園近隣を抜き出したもの（カラーの図および他の津波浸水想定マップは【資料編】を参照）
 - ※ 園の近隣で想定される浸水深：0.3m 以上 2.0m 未満
 - ※ 浸水深とは、最大クラスの津波が悪条件下において発生（沖合 30m において高さ 4.1m～6.9m の津波が到来）した場合に想定される各地点の水深のこと
 - ※ 地震発生後、海岸線に津波の影響が現れるまでは 22 分 と推定
 - ※ 着色されていないところも浸水する可能性はある。また想定より大きな津波が発生したり、より早く津波が押し寄せたりすることもあり得る



※ カラーの図は【資料編】を参照

(出典：<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/doboku/01class/class06/kaigan/tsunamisinnui/>)

3) 幼稚園の備蓄品（事務所に配備）

- ・ 拡声器
- ・ 救急用品
- ・ 非常食（乾パン、お菓子など）
- ・ 水
- ・ アルミシート
- ・ オムツ
- ・ 着替え

4) 3 台の各園バス内の備蓄品

- ・ 救急用品
- ・ 水
- ・ 毛布
- ・ 防寒用ブルーシート
- ・ 防災ラジオ（運行時に事務所から持ち込む）

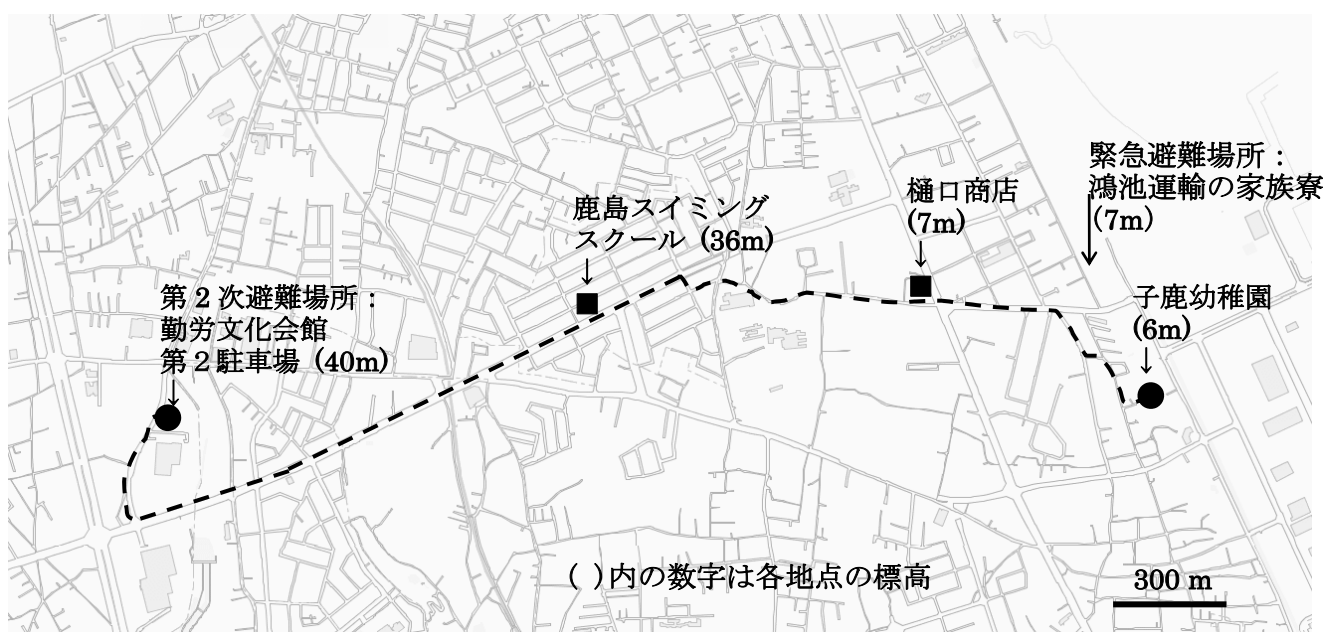
3. 地震発生時の基本事項

※ 園舎工事期間中は、状況により第2グラウンドも第1避難場所として使用する

1) 避難場所

- ・第1次避難場所：第1グラウンド（標高 6m）
- ・第2次避難場所：鹿嶋勤労文化会館第2駐車場（標高 40m、園から約 3.5km）
- ・緊急避難場所：鴻池運輸の家族寮（標高 6m＋各階の高さ、園から約 250m）
- ・園バスが神栖市内を走行中：神栖市津波ハザードマップにある最寄りの避難場所（【資料編】参照）に一時避難し、その後セントラルホテル裏の駐車場（標高 7m）へ移動

2) 園から第2次避難場所の勤労文化会館第2駐車場への避難ルートと緊急避難場所である「鴻池運輸の家族寮」の地図：



(地図データ: <http://gis.asp-ibaraki.jp/jam.ibaraki/portal/>)

3) 保護者への連絡方法

あらゆる条件下で連絡が届くよう、手段は複線化する。ただし、停電のため連絡手段が不通となった場合は、「5. 地震発生時の初動フローチャート」および「6. 地震発生後の具体的な対応」に従い、状況を判断して保護者は引き渡しの場所へ移動をする。

- ・電子メール配信（事前登録制）
- ・電話連絡（緊急連絡網）
- ・ツイッター（<https://twitter.com/kojika820538>）
- ・災害用伝言ダイヤル「171」
- ・園に掲げる「勤労文化会館に避難した」等の掲示

4) 保護者への引き渡し

引き渡しの際は引き渡しカードに記載された者へのみ、園児を引き渡す。また、安全な状況下で保護者に引き渡すまでは、責任をもって職員が保護する。

I. 津波注意報・警報の発令なし

- (1) 震度4以下：第1グラウンド避難（雨天時は教室内待機）後に通常の活動に戻るため、引き渡しなし。
- (2) 震度5弱以上：それ以後の活動は中止。状況により、園内にて保護者へ引き渡しを行う

II. 津波注意報・警報の発令あり

- (1) 第2次避難場所である鹿嶋勤労文化会館第2駐車場にて、保護者への引き渡しを行う
- (2) 神栖コースのバス送迎中：セントラルホテル裏の駐車場にて引き渡しを行う。
ただし、セントラルホテルまで移動不可の場合は一時避難した場所（【資料編】を参照）にて行う

4. 事前の危機管理

1) 避難訓練

- ・津波に対する避難訓練は月に一度実施する
- ・保護者等がいる行事中に避難訓練を組み込み、園児以外の在園者への訓練も行う
- ・保護者への引き渡し訓練を年に一度、一学期の終了式後に実施する
- ・避難訓練実施報告書を作成し、保護者に結果を報告する

2) 設備の点検等

- ・月に一度、設備の点検・確認をする。
- ・落下、転倒の可能性のある家具、ピアノ、エアコン、照明器具、額縁、置物などが固定されているか。
- ・徒歩・バスによる避難経路の安全性、危険個所の確認、修繕・改良
- ・備蓄品（4ページ参照）、引き渡しカードの確認
- ・各教室に設置および園バスに携行する防災ラジオの動作確認

3) 防災教育（日頃からの安全管理）

(1) 園児に対して

- ・定期的な避難訓練：園内、徒歩、園バスによる各避難方法について実施
- ・地震発生時は頭を抱えてダンゴムシになり、頭を守る。ストーブ、窓ガラス、ロッカー、ピアノの近くに行かない。徒歩で避難中はブロック塀の近くを歩かない等
- ・避難の合い言葉「おかしも（おさない・かけない・しゃべらない・もどらない）」を徹底する

(2) 保護者に対して

- ・総会や行事などの際に、地震災害時の対応の説明会を実施する
- ・災害時の対応事項について、紙面で配布する
- ・年に一度、行事の際に保護者等の在園者も一緒に避難訓練を実施する

(3) 職員に対して

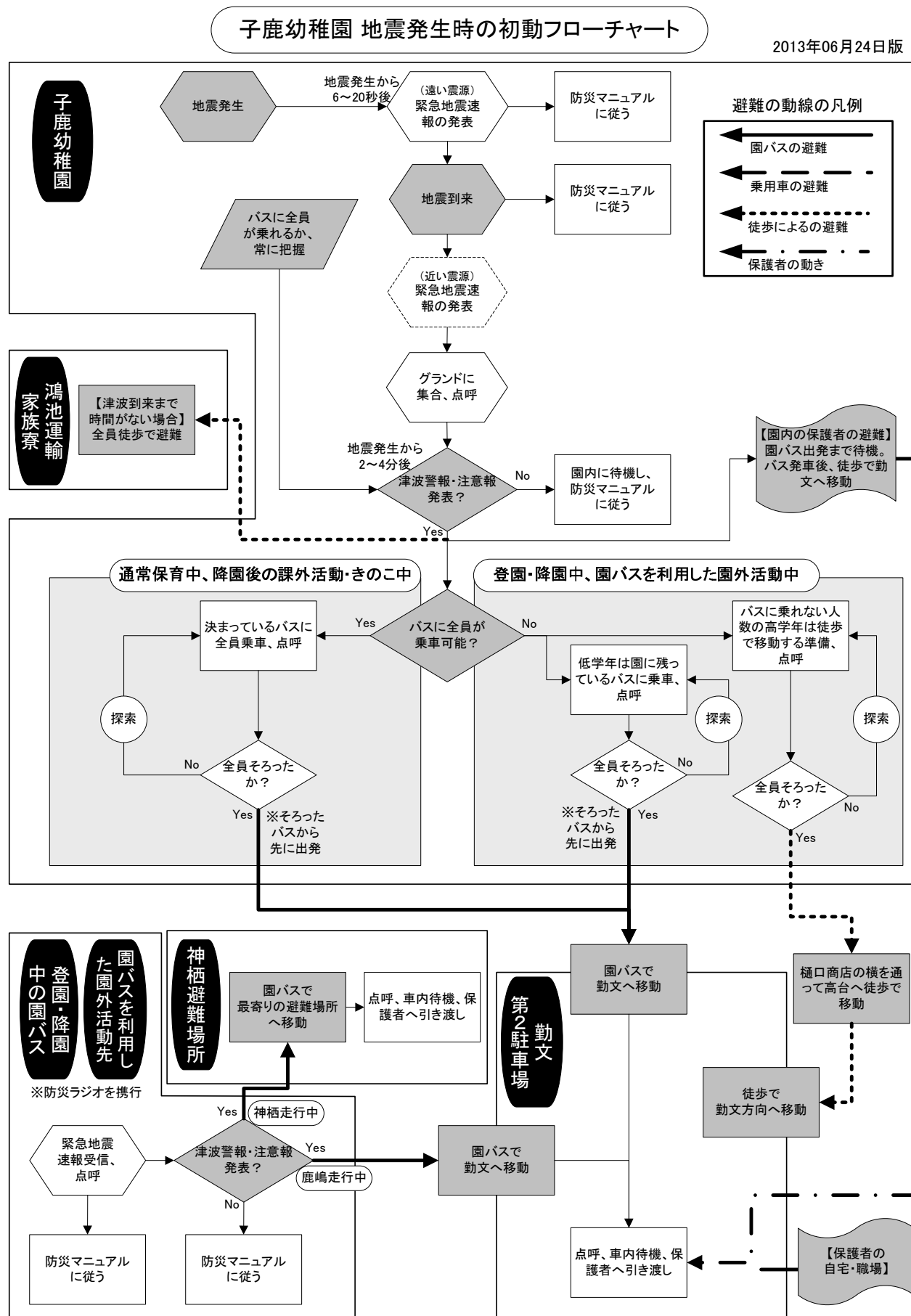
- ・非常時における職員一人一人の役割を自覚し、適切かつ迅速に、統一した行動がとれるよう、常に共通理解を図ることを目的として防災会議を月に一回実施する
- ・職員向けの防災講習（救急手当の講習、災害時の心のケアについて）を実施する
- ・神栖コースのバス内の運転手から見える位置に、神栖市内の避難場所マップを掲げる
- ・職員の役割分担を明確にしておく（4ページを参照）

4) 本マニュアルの見直し

- ・マニュアルは最新情報になるよう、園職員・保護者の目で常に見直す
- ・変更した場合は保護者へお便り・メール等を通じて連絡する。
- ・幼稚園ホームページに最新版を掲載するとともに、過去の変更履歴についても記載する

5. 地震発生時の初動フローチャート

地震発生から引き渡しまでの流れを示す。詳細は「6. 地震発生後の具体的な対応」参照。



6. 地震発生後の具体的な対応

地震発生後の対応は、登園・降園中、保育中・降園後、行事中、天候によることから、それぞれ場合分けして具体的に示した。

(1-1) 通常保育中

下線：保護者が関係するところ

<初期対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
地震発生 (防災ラジオの警報作動)	教室内 ：揺れが収まるまでダンゴムシになり机の下にもぐり、頭を守る サンホール ：窓ガラスから離れて、頭上に落下物のない中央に移動し、頭を抱えてダンゴムシになるよう指示をする 園庭 ：その場で頭を抱えてダンゴムシになるよう指示をする	・すぐに出入り口の扉を開放する ・ストーブの火を消す

<二次対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
大きな揺れが収まる	・第1グラウンドへの避難を指示する ・室内の園児は上履きのまま、体操帽子をかぶり移動する ・クラスごとに点呼を行う	・負傷者の有無を確認する ・トイレ等に残っている園児がいないか必ず目視で確認し、『確認済み』用紙をトイレ等の入口に置く

<避難開始>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
津波注意報・警報は発令されず		
震度4以下の揺れ	・通常保育に戻る	・建物に入る際、危険なところがないか確認をする
震度5弱以上の揺れ	・第1グラウンドでそのまま待機するよう指示をする。 ・ <u>状況により、保護者へ引き渡しを行う</u>	・ <u>保護者へメール発信・電話をする</u>
津波注意報・警報が発令される		
津波到達まで時間がない場合 (15分以内)	・全員徒歩で、緊急避難場所である鴻池運輸の家族寮へ避難するよう指示をする ・移動する列の順は、大きい学年→小さい学年とする ・クラス単位で、家族寮の各棟の外側階段から上層階へ避難する	・ <u>避難先から園の携帯電話で保護者へメール発信する</u> ・「鴻池運輸の家族寮へ避難した」看板を園フェンスに掲示 ・避難バッグを携行する ・先頭にたつ職員は運輸家族寮のフェンスのカギを必ず持つ ・職員は先頭→中間→最後尾と声をかけあって、列の状態を常に確認する
津波到達まで時間がある場合 (15分以上)	・園児をバスに誘導する(1号車：はな組・年中、2号車：年少、3号車：年長) ・バスで避難経路を通り、第二次避難場所である鹿嶋勤労文化会館へ避難する ・全員そろったバスから、先に園を出発する ・避難先では、園児は園バス内で待機させる ・ <u>避難先にて保護者への引き渡しを行う</u>	・ <u>保護者へメール発信・電話をする</u> ・「鹿嶋勤労文化会館へ避難した」看板を園フェンスに掲示

<初期対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
地震発生 (防災ラジオの警報作動)	教室内 :揺れが収まるまでダンゴムシになり机の下にもぐり、頭を守る サンホール :窓ガラスから離れて、頭上に落下物のない中央に移動し、頭を抱えてダンゴムシになるよう指示をする	・すぐに入出口の扉を開放する ・ストーブの火を消す

<二次対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
大きな揺れが収まる	・教室の中央へ集まるよう、指示をする ・教室内で点呼をする	・負傷者の有無を確認する ・トイレ等に残っている園児がい ないか必ず目視で確認し、『確認済 み』用紙をトイレ等の入口に置く ・教室内にガラスが散乱するなど 危険な状態になった場合は、より 安全な教室へ移動することも検討 する

<避難開始>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
津波注意報・警報は発令されず		
震度4以下の揺れ	・通常保育に戻る	・建物に入る際、危険なところがないか確認をする
震度5弱以上の揺れ	・教室内でそのまま待機するよう指示をする ・ <u>状況により、保護者へ引き渡しを行う</u>	・ <u>保護者へメール発信・電話をする</u> ・教室内にガラスが散乱するなど危険な状態になった場合は、より安全な教室へ移動することも検討する
津波注意報・警報が発令される		
津波到達まで時間がない場合 (15分以内)	・全員徒歩で、緊急避難場所である鴻池運輸の家族寮へ避難するよう指示をする ・移動する列の順は、大きい学年→小さい学年とする ・クラス単位で、家族寮の各棟の外側階段から上層階へ避難する	・ <u>避難先から園の携帯電話で保護者へメール発信する</u> ・「鴻池運輸の家族寮へ避難した」看板を園フェンスに掲示 ・避難バッグを携行する ・先頭にたつ職員は運輸家族寮のフェンスのカギを必ず持つ ・職員は先頭→中間→最後尾と声をかけあって、列の状態を常に確認する
津波到達まで時間がある場合 (15分以上)	・園児をバスに誘導する(1号車:はな組・年中、2号車:年少、3号車:年長) ・バスで避難経路を通り、第2次避難場所である鹿嶋勤労文化会館へ避難する ・全員そろったバスから園を出る ・避難先では、園児は園バス内で待機させる ・ <u>避難先にて保護者への引き渡しを行う</u>	・ <u>保護者へメール発信・電話をする</u> ・「鹿嶋勤労文化会館へ避難した」看板を園フェンスに掲示

<初期対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
地震発生 (防災ラジオの警報作動)	教室内 ：揺れが収まるまでダンゴムシになり机の下にもぐり、頭を守る サンホール ：窓ガラスから離れて、頭上に落下物のない中央に移動し、頭を抱えてダンゴムシになるよう指示をする 園庭 ：その場で頭を抱えてダンゴムシになるよう指示をする	・すぐに入出口の扉を開放する ・ストーブの火を消す

<二次対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
大きな揺れが収まる	・第1グラウンドへの避難を指示する ・室内の園児・児童は上履きのまま、体操帽子があればかぶり移動する ・課外クラブ・きのこ組ごとに点呼を行う	・ <u>保護者・児童がいる場合は、第1グラウンドへ避難するよう指示をする</u> ・負傷者の有無を確認する ・トイレ等に残っている園児がいなければ必ず目視で確認し、『確認済み』用紙をトイレ等の入口に置く

<避難開始>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
津波注意報・警報は発令されず		
震度4以下の揺れ	・通常の課外活動・延長保育に戻る	・建物に入る際、危険なところがないか確認をする
震度5弱以上の揺れ	・第1グラウンドでそのまま待機するよう指示をする ・ <u>状況により、保護者へ引き渡しを行う</u>	・ <u>保護者へメール発信・電話をする</u>
津波注意報・警報が発令される		
津波到達まで時間がない場合 (15分以内)	・全員徒歩で、緊急避難場所である鴻池運輸の家族寮へ避難するよう指示をする ・移動する列の順は、大きい学年→小さい学年とする。 <u>保護者・児童がいる場合は、最後を歩く</u> ・各課外活動・延長保育の単位で、家族寮の各棟の外側階段から上層階へ避難する。 <u>保護者・児童は、最後に階段を上がる</u>	・ <u>避難先から園の携帯電話で保護者へメール発信する</u> ・「鴻池運輸の家族寮へ避難した」看板を園フェンスに掲示 ・避難バッグを携行する ・先頭にたつ職員は運輸家族寮のフェンスのカギを必ず持つ ・職員は先頭→中間→最後尾と声をかけあって、列の状態を常に確認する
津波到達まで時間がある場合 (15分以上)	・園児・児童をバスに誘導する(1号車・2号車は送迎中のため不在、3号車：在園者全員) ・バスで避難経路を通り、第2次避難場所である鹿嶋勤労文化会館へ避難する ・全員そろったバスから園を出る ・ <u>バスに乗りきれなかった児童・保護者がいる場合は、園バスがすべて出発してから、徒歩で避難する</u> ・避難先では、園児・児童は園バス内で待機させる ・ <u>避難先にて保護者への引き渡しを行う</u>	・ <u>保護者へメール発信・電話をする</u> ・「鹿嶋勤労文化会館へ避難した」看板を園フェンスに掲示

<初期対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
地震発生 (防災ラジオの警報作動)	教室内：揺れが収まるまでダンゴムシになり机の下にもぐり、頭を守る サンホール：窓ガラスから離れて、頭上に落下物のない中央に移動し、頭を抱えてダンゴムシになるよう指示をする	・すぐに入出口の扉を開放する ・ストーブの火を消す

<二次対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
大きな揺れが収まる	・教室の中央へ集まるよう、指示をする ・教室内で点呼をする	・負傷者の有無を確認する ・トイレ等に残っている園児がいないか必ず目視で確認し、『確認済み』用紙をトイレ等の入口に置く ・教室内にガラスが散乱するなど危険な状態になった場合は、より安全な教室へ移動することも検討する

<避難開始>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
津波注意報・警報は発令されず		
震度4以下の揺れ	・通常の課外活動・延長保育に戻る	・建物に入る際、危険なところがないか確認をする
震度5弱以上の揺れ	・教室内でそのまま待機するよう指示をする。 ・ <u>状況により、保護者へ引き渡しを行う</u>	・ <u>保護者へメール発信・電話をする</u>
津波注意報・警報が発令される		
津波到達まで時間がない場合 (15分以内)	・全員徒歩で、緊急避難場所である鴻池運輸の家族寮へ避難するよう指示をする ・移動する列の順は、大きい学年→小さい学年とする。 <u>保護者・児童がいる場合は、最後を歩く</u> ・各課外活動・延長保育の単位で、家族寮の各棟の外側階段から上層階へ避難する。 <u>保護者・児童は、最後に階段を上がる</u>	・ <u>避難先から園の携帯電話で保護者へメール発信する</u> ・「鴻池運輸の家族寮へ避難した」看板を園フェンスに掲示 ・避難バッグを携行する ・先頭にたつ職員は運輸家族寮のフェンスのカギを必ず持つ ・職員は先頭→中間→最後尾と声をかけあって、列の状態を常に確認する
津波到達まで時間がある場合 (15分以上)	・園児・児童をバスに誘導する(1号車・2号車は送迎中のため不在、3号車：在園者全員) ・バスで避難経路を通り、第2次避難場所である鹿嶋勤労文化会館へ避難する ・全員そろったバスから園を出る ・ <u>バスに乗りきれなかった児童・保護者がいる場合は、園バスがすべて出発してから、徒歩で避難する</u> ・避難先では、園児・児童は園バス内で待機させる ・ <u>避難先にて保護者への引き渡しを行う</u>	・ <u>保護者へメール発信・電話をする</u> ・「鹿嶋勤労文化会館へ避難した」看板を園フェンスに掲示

<初期対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
地震発生 (防災ラジオの警報作動)	教室内 :揺れが収まるまでダンゴムシになり机の下にもぐり、頭を守る サンホール :窓ガラスから離れて、頭上に落下物のない中央に移動し、頭を抱えてダンゴムシになるよう指示をする 園庭 :その場で頭を抱えてダンゴムシになるよう指示をする	・すぐに入出りの扉を開放する ・ストーブの火を消す ・ <u>保護者への声掛けも行う</u>

<二次対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
大きな揺れが収まる	・第1グラウンドへの避難を指示する ・室内の園児は上履きのまま、体操帽子をかぶり移動する ・クラスごとに点呼を行う	・ <u>保護者・児童にも、第1グラウンドへ避難するよう指示をする</u> ・負傷者の有無を確認する。 ・トイレ等に残っている園児がいないか必ず目視で確認し、『確認済み』用紙をトイレ等の入口に置く

<避難開始>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
津波注意報・警報は発令されず		
震度4以下の揺れ	・行事に戻る	・建物に入る際、危険なところがないか確認をする
震度5弱以上の揺れ	・教室内でそのまま待機するよう指示をする ・ <u>状況により、保護者へ引き渡しを行う</u>	・ <u>保護者へメール発信・電話をする</u>
津波注意報・警報が発令される		
津波到達まで時間がない場合 (15分以内)	・全員徒歩で、緊急避難場所である鴻池運輸の家族寮へ避難するよう指示をする ・移動する列の順は、大きい学年→小さい学年とする。 <u>保護者・児童は、最後を歩く</u> ・クラス単位で、家族寮の各棟の外側階段から上層階へ避難する。 <u>保護者・児童は、最後に階段を上がる</u>	・ <u>避難先から園の携帯電話で保護者へメール発信する</u> ・「鴻池運輸の家族寮へ避難した」看板を園フェンスに掲示 ・避難バッグを携行する ・先頭にたつ職員は運輸家族寮のフェンスのカギを必ず持つ ・職員は先頭→中間→最後尾と声をかけあって、列の状態を常に確認する
津波到達まで時間がある場合 (15分以上)	・園児をバスに誘導する（1号車：はな組・年中、2号車：年少、3号車：年長） ・バスで避難経路を通り、第2次避難場所である鹿嶋勤労文化会館へ避難する ・全員そろったバスから園を出る ・ <u>保護者・児童は、園バスがすべて出発してから、徒歩で避難する</u> ・避難先では、園児は園バス内で待機させる ・ <u>避難先にて保護者への引き渡しを行う</u>	・ <u>保護者へメール発信・電話をする</u> ・「鹿嶋勤労文化会館へ避難した」看板を園フェンスに掲示

(3-2) 保護者・児童が参加する行事中（子鹿祭など） ※大雨時 下線：保護者が関係するところ

<初期対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
地震発生 (防災ラジオの警報作動)	教室内 ：揺れが収まるまでダンゴムシになり机の下にもぐり、頭を守る サンホール ：窓ガラスから離れて、頭上に落下物のない中央に移動し、頭を抱えてダンゴムシになるよう指示をする	・すぐに入出口の扉を開放する ・ストーブの火を消す ・<u>保護者への声掛けも行う</u>

<二次対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
大きな揺れが収まる	・教室の中央へ集まるよう、指示をする ・教室内で点呼をする	・負傷者の有無を確認する ・トイレ等に残っている園児がいないか必ず目視で確認し、『確認済み』用紙をトイレ等の入口に置く ・教室内にガラスが散乱するなど危険な状態になった場合は、より安全な教室へ移動することも検討する

<避難開始>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
津波注意報・警報は発令されず		
震度4以下の揺れ	・行事に戻る	・建物に入る際、危険なところがないか確認をする
震度5弱以上の揺れ	・教室内でそのまま待機するよう指示をする ・<u>状況により、保護者へ引き渡しを行う</u>	・ <u>保護者へメール発信・電話をする</u>
津波注意報・警報が発令される		
津波到達まで時間がない場合 (15分以内)	・全員徒歩で、緊急避難場所である鴻池運輸の家族寮へ避難するよう指示をする ・移動する列の順は、大きい学年→小さい学年とする。<u>保護者・児童は、最後を歩く</u> ・クラス単位で、家族寮の各棟の外側階段から上層階へ避難する。<u>保護者・児童は、最後に階段を上がる</u>	・<u>避難先から園の携帯電話で保護者へメール発信する</u> ・「鴻池運輸の家族寮へ避難した」看板を園フェンスに掲示 ・避難バッグを携行する ・先頭にたつ職員は運輸家族寮のフェンスのカギを必ず持つ ・職員は先頭→中間→最後尾と声をかけあって、列の状態を常に確認する
津波到達まで時間がある場合 (15分以上)	・園児をバスに誘導する（1号車：はな組・年中、2号車：年少、3号車：年長） ・バスで避難経路を通り、第2次避難場所である鹿嶋勤労文化会館へ避難する ・全員そろったバスから園を出る ・<u>保護者・児童は、園バスがすべて出発してから、徒歩で避難する</u> ・避難先では、園児は園バス内で待機させる ・<u>避難先にて保護者への引き渡しを行う</u>	・<u>保護者へメール発信・電話をする</u> ・「鹿嶋勤労文化会館へ避難した」看板を園フェンスに掲示

(4-1) 園外保育中

下線 : 保護者が関係するところ

<初期対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
地震発生 (防災ラジオの警報作動)	・安全な場所(落ちてこない・倒れてこない・移動してこない)で、ダンゴムシになるように指示をする	・防災ラジオを携行する ・安心させるような声かけを行う

<二次対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
大きな揺れが収まる	・クラスごとに点呼を行う ・震度4以下では、園外保育を再開する	・各施設職員と連携を図り、地震・津波の情報を得る ・負傷者の有無を確認する ・園に連絡をとる ・負傷者がいる場合、園外保育の再開が不可能な場合は園に戻る

<避難開始>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
津波注意報・警報は発令されず 震度5弱以上の揺れ	・園児を園バスに誘導する。バス内で点呼。 ・安全なルートで、園に戻る ・第1グラウンドにて点呼後、その場で待機するよう指示する ・ <u>状況により、保護者へ引き渡しを行う</u>	・園に連絡をとる ・ <u>保護者へメール発信・電話をする</u>
津波注意報・警報が発令される	・園児を園バスに乗車するよう指示する。バス内で点呼 ・第2次避難所である鹿嶋勤労文化会館へ避難する。 ・避難先では、園児は園バス内で待機させる ・ <u>避難先にて保護者への引き渡しを行う</u>	・園に連絡をとる ・ <u>園から保護者へメール発信・電話をする</u>

※観光バスを利用した遠方の施設等における行事中の場合： 現地施設職員や観光バス運転手・バス会社とも連携を図り、児童・保護者（同行の場合）、職員の安全を第一に考えた行動をとる

<初期対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
地震発生 (防災ラジオの警報作動)	・プール内にいる : プールサイドに移動して頭を抱えるよう指示をする ・プールサイド・通路等にいる : 安全な場所(落ちてこない・倒れてこない・移動してこない)で、頭を抱えてしゃがむように指示をする ・施設職員の指示に従う	・防災ラジオを携行する ・安心させるような声かけを行う

<二次対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
大きな揺れが収まる	・全員プールサイドに上がるよう指示をする ・クラスごとに点呼をとる ・震度4以下では、園外保育を再開する	・施設職員と連携を図り、地震・津波の情報を得る ・負傷者の有無を確認する ・負傷者がいる場合、園外保育の再開が不可能な場合は園に戻る ・園に連絡をとる

<避難開始>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
津波注意報・警報は発令されず 震度5弱以上の揺れ	・着替えをせず、水着のまま園バスに乗車するよう指示をする ・安全なルートで、園に戻る ・第1グラウンドにて点呼後、その場で待機するよう指示する ・状況により、保護者へ引き渡しを行う	・施設職員との連携を図る ・園バス内で点呼をとる ・園に連絡をとる ・園児の着替え等の荷物を持ちかえる ・<u>園から保護者へメール発信・電話をする</u>
津波注意報・警報が発令される	・第2次避難所である、鹿嶋勤労文化会館へ避難する ・避難所に到着してから、着替えをさせる ・避難先では、園児は園バス内で待機させる ・<u>避難先にて保護者への引き渡しを行う</u>	・施設職員との連携を図る ・園バス内で点呼をとる ・園に連絡をとる ・<u>園から保護者へメール発信・電話をする</u>

* 園児の荷物はひもで通し、避難の際にスムーズに持ち運びできるよう常に準備しておく。

(5) 園バスにて送迎中

下線 : 保護者が関係するところ

<初期対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
地震発生 (防災ラジオの警報作動)	・急停車する場合がありますので、つかまるように指示をする	・防災ラジオを携行する ・バスを安全な場所に停車させる

<二次対応>

状況	園児への指示・対応	職員の対応
大きな揺れが収まる	・バス車内で待機するよう指示をする	・安心させるような声かけを行う ・負傷者の有無を確認する ・防災ラジオで、地震・津波の情報を得る。 ・園に連絡をとる

<避難開始>

状況	鹿嶋市内を走行中	神栖市内を走行中
津波注意報・警報は発令されず	・園に連絡をとる ・通常通り、各停留所まで送迎する	・園に連絡をとる ・通常通り、各停留所まで送迎する
津波注意報・警報が発令される	・園に連絡をとる ・第2次避難所である、鹿嶋勤労文化会館へ向かう ・園から保護者へメール発信・電話をする ・避難先では、園児は園バス内で待機させる ・避難先にて保護者への引き渡しを行う	・園に連絡をとる ・ただちに神栖市津波ハザードマップにある最寄りの避難場所（【資料編】参照）に一時避難、その後セントラルホテル裏の駐車場に移動 ・園から保護者へメール発信・電話をする ・避難先では、園児は園バス内で待機させる ・避難先にて保護者への引き渡しを行う

7. 更新履歴等

- ・ 2013 年 2 月 : マニュアル案（父母会：布施・大川）
- ・ 2013 年 4 月 25 日（木）： 父母会総会にてマニュアル作成の背景・初動チャートを説明
- ・ 2013 年 5 月 7 日（火）： 役員任命式後に「案」削除。鹿嶋市教育委員会へ提出
- ・ 2013 年 6 月 15 日（土）： 子鹿祭中に説明会を開催
- ・ 2013 年 6 月 23 日（日）： マニュアルを【本編】（モノクロ）と【資料編】（カラー）に分割。
在園中の保護者等の避難方法を「車に便乗」から「徒歩」に変更。
降園後・行事中には保護者とともに児童がいることも想定。観光バスを用いた園外保育中の対応について追記。



子鹿祭における避難訓練の様子（2013 年 6 月 15 日）